

経営健全化方針に基づく取組状況（令和2年度）

○法人名 よもぎたアシスト

○経営健全化方針を策定した理由：平成29年度決算において2,750,629円の債務超過が発生したため。

○財政的リスクの状況

単位：千円

	H29年度 決算	H30年度 決算	R元年度 決算	R2年度 決算	目標達成年度 (R2年度)
債務超過額（千円）	△2,751	△1,364	△2,875	△1,966	0
事業の内容に応じて時価で評価した場合の債務超過額（千円）	0	0	0	0	0
土地開発公社のうち債務保証又は損失補償の対象となっている保有期間5年以上の土地の簿価総額（A）（千円）	0	0	0	0	0
損失補償、債務保証及び短期貸付けの合計額（B）（千円）	0	0	0	0	0
標準財政規模（千円）（C）	1,562,805	1,541,142	1,508,805	1,579,959	—
実質赤字比率（%）	—	—	—	—	—
(A) / (C) (%)	—	—	—	—	—
(B) / (C) (%)	—	—	—	—	—

○主な取組状況

【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

物産館部門について、閑散期である12月から2月までの営業時間を1時間短縮し、経費の削減を図った。

物産館部門の自主事業である弁当事業は新型コロナウイルスの影響等による温泉の団体客の減少等に伴う折・弁当の需要の減少などの要因もあり、対前年度比で3,818千円の減収となった。

玉松園カントリーパークの管理職員（パート職員）を3名から2名にし、経費の削減を図った。

【地方公共団体による財政的なリスクへの対処のための対応】

会社経営者や税理士等の第三者を含めた蓬田村公社等点検評価委員会を開催し、業務内容の評価や指導を実施。

本来、指定管理料で措置されるべき経費が措置されていなかった部分もあったため、各種施設の収入、管理経費等の詳細を把握し、適切な指定管理料を積算することで、村からの財政的支援を抑制している。

○法人の財務状況

（貸借対照表から）

単位：千円

	H29 年度決算	H30 年度決算	R 元年度決算	R2 年度決算
資産総額	6,747	6,484	5,718	4,406
（うち現預金）	(2,567)	(3,548)	(3,356)	(2,427)
（うち売上債権）	(0)	(0)	(44)	(11)
（うち棚卸資産）	(895)	(418)	(489)	(670)
負債総額	9,498	7,848	8,593	6,372
（うち当該地方公共団体からの借入金）	(0)	(0)	(0)	(0)
純資産総額	△2,751	△1,364	△2,875	△1,966

（損益計算書から）

単位：千円

	H29 年度決算	H30 年度決算	R 元年度決算	R2 年度決算
経常収益	54,743	55,297	53,499	53,290
経常費用	50,599	53,831	54,930	52,301
経常損益	4,144	1,467	△1,431	989
経常外損益	△80	△80	△80	△80
当期純損益	4,064	1,387	△1,511	909

